

東京理科大学と連携したまちづくりプロジェクト

総合戦略の主な施策：新幹線駅を核とした人を惹きつける魅力あふれるまちづくり

寄附募集額

25,409千円

背景

「かにめし」で有名な北海道長万部町は漁業を初めとした1次産業が盛んであり、古くから交通の要衝として栄えてきた町です。2030年度末には北海道新幹線の延伸に伴い、長万部町に新幹線駅が開業します。北海道新幹線長万部駅を地域交流の拠点とし、豊富な文化財・魚介類・温泉といった町の資源や人材を活かしながら、地域の賑わいを創出し、将来にわたって住み続けたいまちづくりを行います。長万部町と町にキャンパスを構える東京理科大学は自律的で持続可能な社会の実現に向け、連携してさまざまな取り組みを行ってきました。現在、コロナウイルスの影響で長万部キャンパスの利用が休止されておりましたが、2023年度から学部の改編に伴い、経営学部国際デザイン経営学科の新生が町で寮生活を迎えています。長万部町で生活し、住民と活動することで地域課題の解決する能力を養い、新幹線駅開業に向けた官民連携による、まちづくりを”デザイン”していきます。

地域課題

- 東京理科大学との連携強化
- 駅前、市街地に散在する空き家、空き店舗の利活用
- 関係人口の創出

事業目的

- 寮内の温泉設備の改修による東京理科大生の生活環境支援
- 空き家、空き店舗の利活用を検討するワークショップの開催
- 駅前、市街地に散在する空き家、空き店舗を利活用した地域交流拠点の整備
- 学生と住民の交流促進、賑わいのある新たなイベントづくり

企業側のメリット

- ✓ 北海道長万部町と連携した地域・社会貢献事業への参画(実質負担10%)
- ✓ 北海道長万部町との共創パートナーシップの構築
- ✓ 企業名告知(PR)の実施
- ✓ 企業様と北海道長万部町が相互の発展に寄与する連携事業への展開
- ✓ 北海道長万部町長との対談
- ✓ 東京理科大学北海道・長万部キャンパスでの企業PR機械の橋渡し



【北海道長万部町へのアクセス】

- ◇ 新千歳空港からJRで約2時間
- ◇ 函館空港から車で約2時間
- ◇ 札幌市から車で約2時間40分
- ◆ 北海道新幹線札幌延伸後は札幌～長万部間約39分を予定。東京からは約4時間を目指しています。

